

# 令和7年度ウェルビーイング先進事例等視察に係る手配業務委託契約入札心得

(趣旨)

第1条 この心得は、令和7年度ウェルビーイング先進事例等視察に係る手配業務委託契約について、静岡県が行う競争入札に参加しようとする者（以下「入札参加者」という。）が守らなければならない事項を定めるものとする。

(入札参加資格の確認)

第2条 入札参加者は、入札参加資格の確認を受けなければならない。

(入札の基本的事項)

第3条 入札参加者は、業務委託要領、設計書及びその他契約締結に必要な条件を熟知の上、入札しなければならない。この場合において、業務委託要領、設計書等について疑義があるときは、関係職員の説明を求めることができる。

(公正な入札の確保)

第4条 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。

(入札)

第5条 入札書は、様式第1号により作成し、別紙「入札金額内訳書」を併せて封印の上、封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「令和7年度ウェルビーイング先進事例等視察に係る手配業務委託の入札書在中」と記載し、公告に示した日時及び場所に持参しなければならない。

2 入札参加者は、代理人をして入札させるときは、様式第2号による委任状を持参させなければならない。

3 入札参加者は、入札参加資格の確認通知書を持参しなければならない。

4 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額のうち課税対象金額の100分の10に相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）をもって落札額とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額（ただし、不課税対象額については100分の100の額）を入札書に記載すること。

5 第1項の規定について、電話、郵送、電報、ファクシミリその他の方法による入札を認めない。

(入札書の書換等の禁止)

第6条 入札者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

(入札の中止等)

第7条 開札前において、天災、地変その他やむを得ない理由が生じたときは、入札の執行を延期し、又は取りやめることがある。

(開札)

第8条 開札は、入札の終了後、直ちに当該入札場所において入札者を立ち合わせて行う。

2 入札者が開札に立ち会わないときは、当該入札事務に関係のない県職員を立ち合わせる。

(入札の無効)

第9条 次の各号の一に該当する入札は無効とする。

- (1) 公告等に示した入札参加資格を満たしていない者のした入札
  - (2) 委任状を持参しない代理人のした入札
  - (3) 所定の日時、場所に必要書類を提出しない入札
  - (4) 記名押印を欠く入札
  - (5) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
  - (6) 金額を訂正した入札
  - (7) 談合その他不正の行為により入札を行ったと認められる者の入札
  - (8) 同一事項の入札について2以上を入札した者の入札
  - (9) 同一事項の入札について自己のほか他人の代理人を兼ねて入札した者の入札
  - (10) 同一事項の入札について2人以上の代理人をした者の入札
  - (11) 前各号に定めるもののほか、指示した条件に違反して入札した者の入札
- (落札者の決定)

第10条 予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札をした者を落札者とする。

(再度入札)

第11条 開札した場合において落札者とすべき入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。

2 第9条第1項第1号から第3号まで及び第7号から第10号までの一に基づき無効とされた入札をした者は、再度入札に参加することができない。

3 再度入札において入札参加を辞退しようとする者は、入札書に「辞退」と記載し提出しなければならない。

(同価格の入札者が2人以上ある場合の落札者の決定)

第12条 落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札をした者にくじを引かせて落札者を定める。

2 前項の場合において、当該入札をした者のうちくじを引かない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のない県職員にくじを引かせる。

(入札結果の通知)

第13条 開札をした場合において、落札者があるときはその者の氏名又は名称及び金額を、落札者がいないときはその旨を入札者に直ちに口頭で知らせる。

(契約の締結)

第14条 落札者は、落札の通知を受けた日から起算して7日以内に、静岡県財務規則（昭和39年静岡県規則第13号）第52条第1項各号に掲げる事項を記載した契約書を作成して契約を締結しなければならない。ただし、契約担当者がやむを得ない理由があると認める場合は、その期間を延長することができる。

2 落札者が前項の期間内に契約を締結しないときは、その落札は効力を失う。

(契約の確定)

第15条 契約は、契約当事者双方が記名押印したときに確定する。

(異議の申立て)

第16条 入札した者は、入札後、この心得、業務委託要領、設計書等についての不明を理由として異議を申し立てることはできない。

(様式第1号)

入 札 書

- 1 入札番号 第1号
- 2 件 名 令和7年度 ウェルビーイング先進事例等視察に係る  
手配業務委託

上記の業務を下記の金額で請け負いたく申し込みます。

入札金額	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(内訳は別紙「入札金額内訳書」による)

令和 年 月 日

発注者

静岡県知事 鈴木 康友 様

住 所

入札者 商号又は名称 印  
氏 名

※代理人が入札する場合

代理人氏名 印

別紙

入 札 金 額 内 訳 書

項 目	金 額
1 国外における手配業務等（不課税対象額）	円
2 国内における業務管理費（課税対象額） ※消費税抜き価格	円
入札金額（上記内訳の合計）	円

< 注意事項 >

- ・ 内訳書の太線枠の金額欄と、様式第1号の入札書の金額は必ず一致させること
- ・ 様式第1号入札書と併せて、入札金額内訳書を封印すること。

(様式第2号)

## 委任状

代理人の印

私は、

を代理人と定め、下記事項を処理

する一切の権限を委任します。

### 記

委任事項 令和7年9月2日 企画課における  
令和7年度ウェルビーイング先進事例等視察に係る  
手配業務委託 の入札について

静岡県知事 鈴木 康友 様

令和 年 月 日

住 所

商号又は名称

氏 名

印

(様式第1号)

# (記入例)

## 入札書

- 1 入札番号 第1号
- 2 件名 令和7年度 ウェルビーイング先進事例等視察に係る  
手配業務委託

上記の業務を下記の金額で請け負いたく申し込みます。

入札金額	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
			●	●	●	●	●	●	●

↑金額を税抜で記入してください。

令和 7年 9月 2日

発注者

静岡県知事 鈴木 康友 様



住 所 静岡県静岡市葵区追手町▲番▲号

入札者 商号又は名称 株式会社○○ 代表者印

氏 名 代表取締役 山田花子



※代理人が入札する場合

代理人氏名 山田太郎



※入札書及び別紙「入札金額内訳書」を封書に入れて封印し、その封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び『令和7年度ウェルビーイング先進事例等視察に係る手配業務委託入札書在中』と記載する必要があります。

(記入例)

(様式第2号)

委任状

代理人の印

私は、山田太郎

代理人  
の印

を代理人と定め、下記事項を処理

する一切の権限を委任します。

記

委任事項 令和7年9月2日 企画課における  
令和7年度ウェルビーイング先進事例等視察に係る  
手配業務委託 の入札について

静岡県知事 鈴木 康友 様

令和 7年 9月 2日

住 所 静岡県静岡市葵区追手町▲番▲号

商号又は名称 株式会社○○ 印

氏 名 代表取締役 山田花子

社印

代表  
者印